



21京木連第1号  
平成21年1月23日

京都市長 門川大作様

社団法人 京都府木材組合連合会  
会長 辻井



京都府木材協同組合連合会  
理事長 辻井



### 要 望 書

京都市におかれましては、両団体の活動に対し、常日頃から格別のご指導、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、世界的な金融危機により経済が急速に悪化し、京都経済や住民の暮らしに大きな影響を及ぼしております。更に本年10月、住宅瑕疵担保履行法が施行されるため、建設業界への負担は大きく、中小零細業者が多い木材産業は存亡の危機に立たされております。

一方、京都議定書発祥地にある本連合会といたしまして、「木づかい推進運動」の取り組みを通じ、木材は“持続可能な資源”であり、“人や環境に優しい素材”であることを世界に発信してきました。木材産業を取り巻く状況は更に厳しくなりますが、地元産木材を利用する中で、産業の振興と環境保全の両立を目指してまいりますので、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

京都市におかれましては、「京の山 杣人工房」をはじめ、「木の文化を大切にするまち・京都市民会議」発足など、地元産木材の需要を喚起する施策を次々と打ち出されており、文化・環境先進都市“京都”の景観を創出するものとして大きく期待されております。

つきましては、これらの施策が実効性あるものとするため、平成21年度予算編成に当たり下記項目についてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

- 1 木材需要の拡大 <木材産業の危機突破に向けて>  
京都市の公共施設等において、①木造化の推進 ②木質内装、木製外構施設整備 ③備品の木質化（机、椅子、書棚等）
- 2 政府関係省庁への進言  
住宅瑕疵担保履行法の円滑な施行、信用保証協会セーフティネット保証の恒久化
- 3 「木づかい推進運動」が定着するよう支援の強化  
市広報誌等を活用してのPR

(以 上)